

## 第2節 環境保全団体の活動紹介

市内には、環境市民会議をはじめ、地域で環境保全活動をしている団体等が多数あります。こうした地域に根ざした様々な活動が力となり、望ましい環境像の実現に向かっていきます。

### ■ 八王子・日野カワセミ会

#### 1. 概要

八王子・日野カワセミ会は昭和60年に発足した市民団体です。現在会員数は234名です。本会は、八王子市と日野市内の浅川及びその周辺の野鳥観察を通じて自然に接し楽しみ、野鳥が安心して住める環境をつくることに協力することを目標にしています。主な活動内容は、①探鳥会の実施、②野鳥の保護啓発活動、③野鳥の調査活動、④広報活動として会報「かわせみ」の発行などです。

#### 2. 27年度の主な活動実績

##### (1) 探鳥会の実施

- ・公開探鳥会 年3回
- ・浅川周辺の月例探鳥会 年9回
- ・平日探鳥会 年20回
- ・遠出探鳥会 年12回



片倉城跡公園シジュウカラ用巣箱架け活動

##### (2) 野鳥の保護及び啓発活動

- ・市内小学校の野鳥観察の支援 10回
- ・東京都農林振興財団、福寿園など7団体の野鳥観察会支援
- ・八王子市生涯学習センター及び由井市民センターみなみ野館でのパネル展示
- ・2015八王子環境フェスティバルに出展
- ・野鳥の密猟防止パトロール 年2回
- ・5年毎に野鳥展を開催（次回は28年9月開催予定）

##### (3) 野鳥の調査活動

- ・野鳥の生息数の定期カウント（浅川、多摩川、都市公園、高尾山など20か所で毎月1回）
- ・オオルリ等夏鳥生息調査、秋のサシバの渡り調査、冬鳥一斉調査など10項目の調査

##### (4) 広報活動、その他

- ・会報「かわせみ」の発行・・・年2回発行し会員、図書館、関係団体・個人に配布
- ・鳥信情報収集活動・・・八王子・日野市内の鳥情報（渡り鳥の初認・終認、希少種の記録、繁殖、変わった行動など）を収集し半年毎に会報「かわせみ」に掲載
- ・「フォト鳥信」活動・・・会員が撮影した野鳥に関する写真を収集し、カワセミ会のホームページで公開
- ・八王子・日野カワセミ会ホームページ・・・各種イベント情報、調査報告や「浅川流域野鳥図鑑（日本語版、英語版）」などを掲載  
(<http://kawasemi.fan-site.net/>)

## ■佐川急便株式会社（高尾100年の森）

### 1. 概要

佐川急便は、元八王子町と裏高尾町にまたがる山林約50haを社有林として保有しており、その豊かな自然を保つため、19年から「高尾100年の森プロジェクト」をスタートさせました。

このプロジェクトは、地域の方々のご理解を得ながら、市民、大学、企業等の協働による森林管理という新たなスタイルによって「人と自然が共生する里山」の再生を、「100年」という言葉に象徴される、ゆったりとしたタイムスケールで進めようというものです。

21年からは、多くの方にご利用いただける自然体験フィールドとして、里山を通じて「自然と人とのつながり」を学ぶ自然体験教室を継続的に開催しています。

28年3月、この森が環境教育等促進法に基づく「体験の機会の場」に八王子市から認定されました。今後も佐川急便では、「社会・自然との共生」を目指し、森林保全や生物多様性の保全、次世代を担う子どもたちを対象とした環境コミュニケーションに取り組んでまいります。



「体験の機会の場」認定式

### 2. 27年度の主な活動実績

#### (1) 森林保全活動

- ・毎月約4回の下草刈りや、間伐などの保全活動を実施

#### (2) 自然体験教室

- ・計12回開催、計346名参加  
(うち小学生以下90名、中学生100名)



自然体験教室 集合写真

#### <主なプログラム>

##### ① 森林散策

周遊道をインタープリター（森の専門家）と共に散策し、里山にすむ木や草花、動物について説明を受けながら観察することで、生態系のそれぞれの役割や関係性について理解する

##### ② 木染め

森で採れた草花や樹皮、葉を使った草木染めを体験することで、人がなぜ布を織り、染め、身に着けるのかを自主的に考え、調べることで、人と里山の関わりを理解する

##### ③ 森林保全体験

保全活動の必要性について学び、実際に間伐しているところを見たり、自身で体験したりすることで、森林保全について理解する

##### ④ 間伐材を使ったクラフト体験

間伐した木を使って箸や名札、フォトフレームづくり体験をすることで、身近なものが里山と深く関わっていることを理解する

#### (3) 受賞

- ・文部科学省主催「青少年の体験活動推進企業表彰」審査委員会奨励賞（大企業部門）を受賞  
「高尾100年の森」ホームページ：<http://www.sagawa-exp.co.jp/takao100pj/>

## ■一般財団法人セブン-イレブン記念財団（高尾の森自然学校）

### 1. 概要

27年4月に、都と一般財団法人セブン-イレブン記念財団の協働事業として、八王子市川町の約26.5haの緑豊かな森林に「高尾の森自然学校」が開校しました。八王子市も運営に協力しています。

「人と自然、自然環境と地域社会の共存・共栄を自然から学ぶ」を基本理念に低炭素社会の実現や生物多様性の保護に寄与するため、下刈り、間伐作業といった森林整備活動や希少動植物の保護・保全、モニタリング調査などを行っています。

毎週末には環境体験学習プログラムとして、森の生きものしらべ（野鳥観察会、草木の観察会）、森林ボランティア入門やクラフトワークショップのほか、地域の方を中心とした森のお手入れボランティア（森林整備活動）を毎月開催しています。

また、緑地保全活動の活性化につながるネットワークの構築にも取り組んでいます。



野鳥観察会の様子

### 2. 27年度の主な活動実績

#### (1) 環境体験学習プログラム

- ・ 森林ボランティア入門 年10回
- ・ 野鳥観察会 年12回
- ・ 草木の観察会 年9回
- ・ クラフトワークショップ 年7回
- ・ 昆虫観察会 年3回（夏休み特別企画）



森林ボランティア入門

2月28日には、自然保護特別講座としてイエローストーンより現地インタープリターのステイブ・ブラウン氏を講師に迎え、高尾の森自然学校に住む生きものや自然環境の大切さについて講演していただき、フクロウの生態や森の生態系について学びました。

#### (2) 森のお手入れボランティア（年17回）

森づくりのボランティアを募集し、下刈りや間伐作業などの森林整備活動を毎月行っています。森林内の階段や広場、散策路はボランティア参加者の協力によって造られてきました。

#### (3) ネットワークの構築

緑地保全に取り組む団体の事例発表や情報交換の場として、第2回緑地保全団体の情報交流会を開催しました。5団体の事例発表をもとに、整備した森や里山の活用方法を考え、今後の活動のヒントを共有しました。

## ■美しい八王子をつくる会

### 1. 概要

美しい八王子をつくる会は、市民の連帯と共感のなかから恵まれた自然を守り、郷土を愛する心をはぐくむとともに地域住民のふれ合いの場を求め、合わせてコミュニティ活動の活性化を目的とする市民団体です。

### 2. 27年度の主な活動実績

#### (1) みんなの町の清掃デー（5月31日）

町会・自治会及び各種団体の協力を得て、町に捨てられている可燃ごみ、不燃ごみ及び空き缶を回収するとともに、地域の美化を推進しました。

（参加団体数：238団体、回収量：16,330kg）



みんなの川の清掃デー

#### (2) みんなの川の清掃デー（9月6日）

各町会・自治会及び各種団体の協力を得て、市内主要河川の堤防及びその周辺の清掃を行いました。

（参加団体数：159団体、回収量：25,370kg）